建築家に会いに行く!

第21回

伊良波 朝義

有限会社 義空間設計工房

「将来建築家になりたい学生向けのウエルカムオフィスを開催中です。JIAホームページも参照を」と伊良波さん

花ブロックを建築素材として再評価 年月とともに増す美しさを求める

ちょっと話は逸れますが、「体操はやはり美しくないといけない」とは、体操競技の五輪金メダリスト、内村航平選手の言。「技の難易度を競うより、美しさにこだわりたい」。そんな一節を引用するのは、建築家の伊良波朝義さんが話していた「きれいな建築をつくるより、美しい建築を目指したい」というフレーズとシンクロしたから。完成直後の建築物がきれいであるのは当然ですが、「新品」としての美観が保たれる期間には限度があり、年月とともにむしろ求められるのは、趣、味わいといった美的な要素でしょう。とりわけ一生のうち約3割の時間を過ごす住宅が美しくあることは、居心地を高め、住む人の生活の質を豊かにしてくれます。

美しい建築をつくるには、美しさに対する豊かな感受性が不可欠です。伊良波さんは東京で過ごした社会人の駆け出し時代、「設計に気候風土を盛り込もうにも、本土の文化の本質的な部分を理解できていないことに気づき、仕事が手に付かなくなった時期があったんです」。そのとき先輩から勧められたのが茶道でした。行儀作法や心得などを学ぶにつれて徐々に感覚が研ぎすまされ、「その場に流れる光や風、空気感などを敏感に察知できるようになりました」といいます。

本土でのそうした経験は、翻って沖縄の気候風土を再認識するきっかけにもなりました。例えば伊良波さんは、今ではおなじみになった「花ブロック」を、建築素材として再評価する流れをつくった立役者の一人です。「陰をつくって風を通し、プライバシーの保護にも役立つ、現代建築に適した素材ですね」。さらには意匠性にも優れていることは、グッドデザイン賞受賞の作品をはじめ、これまでの実績を見れば一目瞭然です。

上）南部医療センター近くの交差点角に建つCasa Villa真地
中）住宅施工例1。すべての部屋から遠方の海を望める計画になっています
下）住宅施工例2。敷地の高低差を生かし、道路より一段上ったレベルに住居スペースを配置

「義」の気持ちで建築を成す 業界全体の底力アップにも尽力

伊良波さんの子ども時分は、親戚や隣近所で協力し合って家づくりを進める「ゆいまーる」が当たり前の環境でした。おのずと建築に興味を抱くようになり、高校卒業後は琉球大学工学部へ進学。数ある専門分野の中から、大学3年時に設計の道を選びました。

「丹下健三氏が手がけた国立代々木競技場を訪れたとき、その力強さと美しさに心を打たれ、しばらく動けなくなってしまったんです。建築がもつ力の大きさをまざまざと実感し、私も同じ設計の側に立って、人に感動を与える仕事をしたいと決心しました」。

キャリアのスタートには東京を選び、戦後の日本建築界を代表する建築家の一人、内井昭蔵氏の事務所に就職。仕事の基礎を学んで着々と知識・技術を磨き、30歳の節目を機に帰沖して独立しました。

「社名の〝義〟の字には、条理、正しい気持ち、公共のために尽くす気持ち、といった意味があります。創業時から法人格をもつ有限会社としてスタートしたのも、そうした決意を表したかったので」。

会社設立からはや20年。「最初の10年間はやっぱりきつかったかな。ここに来てようやく軌道に乗ったと感じられるようになりました」と振り返ります。最近は建築関連団体の活動にも積極的に参加し、さまざまな立場で発言する機会が増えてきました。「若い人たちの育成や働きやすい環境の整備に努め、沖縄の建築界の底力を高めていきたいですね」。とはいえ伊良波さん本人だってまだまだ現役。年齢とともに深みを増し、一段と研ぎ澄まされたその手腕を、これからも見せてくれることでしょう。

プロフィール

伊良波朝義（いらはともよし）

■一級建築士・日本建築家協会登録建築家
■1967年　沖縄県那覇市出身
■1990年　琉球大学工学部建設工学科卒業
■1990年　（株）内井昭蔵建築設計事務所入所
■1997年　（有）義空間設計工房代表取締役
■2014年　琉球大学工学部非常勤講師

所属団体
■2004年　（公社）沖縄県建築士会会員（現首里支部理事）
■2007年　ＮＰＯ法人首里まちづくり研究会 会員（現理事長）
■2008年　（公社）日本建築家協会会員（現沖縄支部副支部長）
■2015年　（一社）沖縄県建築士事務所協会会員

主な賞
■2010年　第4回建築九州賞一般建築部門奨励賞
■2011年　第9回住宅建築賞住宅建築大賞
■2012年　2012年度　グッドデザイン賞
■2015年　第1回沖縄建築賞一般建築部門奨励賞

有限会社義空間設計工房
那覇市字真地169-1　Casa Villa真地内
tel. 098-888-5303
http://www.gikuukan.com/